建設未来通信社広告部

複合文化施設など大規模事業が目白押

充実、デジタルデバイド対策なるために交通弱者対策、医療の また、市民が快適に住み続け細かく進めていく。 的低い地域であると思うが、地市は大規模災害のリスクは比較 域ごとの防災・減災対策をきめ 統合を進める。

の良い所も分かっている。しかいたこともあるので、小規模校 私は過去に教育委員を務めて

らまちづくりを進めていく。
をうくりの推進。西口と東口の 西口は飲食店やかんばん横丁

ことを求めていきたい。

全・安心を担保すること。石岡いけないのが市民の命であり安 行政として一番守らなければ ■防災・減災対策について なども含め、

が行きたいと思うような学校にちに選ばれる学校、子どもたち であり、そのための方策として をつくるということがまず第 しなければならない。良い学校

の活性化と、東口での新たなま

結ぶ時期と位置づけている。職年間」として花を咲かせ、実をこれからは「チャレンジの4 と種をまいてきた。 守りの4年間の中でもしっかり あったと考えている。しかし、してきた「守りの4年間」で の命と暮らしを守ることに腐心 進めていく。また、学校の整備筆頭に小中学校の整備を着実に

問をした。素晴らしい子どもた密議会へ計画を見直すための諮の実行が遅れており、昨年度に小中学校の統合は、現状計画 る。学校だけでなく児童クラブく、建替えも含めた検討を進め については、長寿命化だけでな 教育環境の向上に

勤環境も良い。石岡小美玉ス岡市は交通アクセスに優れ、通基づき、方策を考えている。石 ている。中心市街地である西口 口と東口の機能の見直しを行っ石岡駅周辺整備事業では、西 求められていると思う。 域の利便性を向上させることがマートインターチェンジ周辺地



ている。 広義な災害の災害時の協定を締結し 評価ができる仕組みを備えについても加点や でも建設業の皆さまを 土浦支部石岡分会とは 頼りにさせていただい **におり、県建設業協会**

応が最優先であったため、市民た時期であった。 感染症への対けウイルス感染症の拡大してい 4年前の就任時は、新型コロ ■1期目の4年間を振り返っ とが求められる。教育施設の改修や統合、企業誘致、石岡 は谷島氏の手腕に期待を寄せている。夢のある石岡の実現 駅周辺整備、 へ邁進する谷島市長に、今後の施政方針や重点事業などを 設の整備など多数の大型プロジェクトが控えており、市民 統合保健センターの建設、そして複合文化施 (聞き手:㈱建設未来通信社 策を進めていきたい。

後は府中小学校、杉並小学校を部小学校の改修に取り組む。今改修を行ってきた。本年度は園校、石岡小学校、国府中学校の本市ではこれまでに南小学 ■教育・子育て環境の充実に 企業が立地している。そ年が経過しており、多

い。

するだけでなく、今いる企業や置した。しかし単に企業を誘致本年度から企業誘致推進室を設 充できる場所を用意したい。新 調査を行ってきた。その結果に ても検討を進めており、 地元企業を大事にしたい 企業がもっと大きく経済活動を たな企業の誘致も必要であり、 したいと考えた場合に事業を拡 新たな工業団地の創設につい その優良

> 通を目指して整備が進んで 上曽トンネルは25年度中の開 一インフラ整備について

がる。持続可能で働く地元建設業の皆さまの活力

つくっていただくこと 頑張る企業を

■地元建設業者へのメッセー

兀育成が市

す。
のではなく、八郷地区にひとつのではなく、八郷地区にひとつる。各学校でプールを整備する 八郷地区の学校プールは、現状していくことは難しい。例えばしていくことは難しい。例えばには全ての学校を維持して対応 では使用が難しいものが沢山あ 八郷地区の学校プールは、現状

症への対応などに追われた「守りの4年間」であったのに した谷島洋司石岡市長。 1期目が新型コロナウイルス感染 4月に行われた市長選挙で、見事に2期目の当選を果た

今期は「チャレンジの4年間」として結果を出すこ

要。柏京工業到もようで、雇用、働く場所の確保は重 ■企業誘致・駅周辺整備につ 多くの優良 ちに「石岡に住みたいな」、「石られるようにしたい。若い人た若い世代が石岡駅の魅力を感じ 施設のほか図書館や歴史館など施設、イベント広場には民間 東に整備し、イベント広場は民 まちづくりを進めたい。石岡駅い。歩行者目線で中心市街地の の施設の整備を検討していきた 間提案に基づく活用を検討して として適していると中間答申を は高校生の乗り降りが多い駅 いきたい。 ルを中心とした

を受注できるようになれば良いがり、県内の仕事や民間の仕事 に表彰するだけでなく、受賞者た20年度から始まった。 ただ単 度をつくっていけないか考えての育成につながるような入札制 ひとつの考え方。 も活躍できるように成長してほ いとつの考え方。メリットを加にインセンティブを与えるのも 表彰制度は私が市長に就任 そのためにも、

を中心とした複合文化施設を駅審議会から受けた。ホール機能 いただき、2月に駅東が建設地施設整備審議会の中で検討して 市議会特別委員会と複合文化

企業に対して市としてできる限 ルまちの発展につながる。地元地元建設業者の育成がイコー の支援をしていきたい。

■複合文化施設の整備事業に **■**入札制度のあり方や表彰制

か、交流の拠点やイベントの駐 ハークのような施設の整備も検早場として使える大規模ロード せるのが難しいといわれている 国道6号は道の駅を成り立た

で完成を急ぎたい。

発生するなど老朽化が著しいの の石岡保健センターは雨漏りが のプールだと考えている。既存 が最優先事項、次いで八郷地区 設事業では、

市が進める建築物の新 この保健センター

◆プロフィール◆

谷島洋司 (やじま・ようじ) 1963年1月生まれ、石岡 市出身。立正大学経済学部卒。県議会議員を経て 2020 年 より現職。趣味はカラオケと美術館巡り。好きな言葉は「人 間万事塞翁が馬」と「不撓不屈」

> いと ■統合保健センターの整備に 整備場所は石岡と八郷の中間

内を予定する。今はどのように地点、ふれあいの里石岡の敷地 整備するかを検討しているとこ

が供用開始されれば車や人の流力を尽くしたい。6号バイパス通についても市として積極的に ーンフラ整備を進めていく。 また、国道6号バイパスの か変わる。開通後を見据えた

で行政を行うだけでなく、 で行政を行うだけでなく、観入切であると考えているが広域 ム域での観光や広域での経済活 魅力が生まれる。

私は日ごろから広域行政が

くか検討している。

は、今後どのように活用してい

西口のステーションパーク

めている。

トボードパークの整備などを進

地域社会の守り手として市勢発展に貢献します

一般社団法人 茨城県建設業協会土浦支部 石岡分会

分会長 松永 英信(㈱松永工務店)

副分会長 岡﨑 二朗 (㈱岡崎土建) 副分会長 大和田久進(東亜興業(株))

(株)

長谷川敏久(㈱長谷川工務店) 俊之 (株)大場工務店) 大場

二朗(白田組土木株) 正和(篠﨑建設傑) 監事 篠崎

雅博(何路川工務店) 理事 路川 顧問 飯村 一夫 (侑)イイムラ)

伝

㈱木村工務店 建 ㈱大場工務店 兼 (株) 祐 民 建 貫工業 桜

㈱紺野工務店 建

進

貢

(株) 鈴木工務店 千代田建設㈱ (有)塚田埋設工事 沢 機 I

白田組土木㈱ 設(有) ㈱長谷川工務店 建 設(株) 高建材

広

建設(株) 建装㈱ 成 設(株) 建 ㈱松永工務店 **(有) 路川工務店** 菱伸工営